



アペルト06

武田雄介

2017年1月21日(土) →
2017年5月7日(日)

若手作家の個展シリーズ「アペルト」。

金沢在住のアーティスト、武田雄介が絵画、映像、写真、塑像など様々なメディアを組み合わせ、「イメージの奥行き／イメージの湿度」を問う。

展覧会名	アペルト06 武田雄介		
企画	中田耕市(金沢21世紀美術館 キュレーター)		
会期	2017年1月21日(土) → 5月7日(日) 開場時間 / 10時～18時(金・土曜日は20時まで) 休場日 / 毎週月曜日(ただし3月20日、5月1日は開場)、3月21日		
会場	金沢21世紀美術館 長期インсталレーションルーム	料金	入場無料
主催	金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]		
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館 事業担当: 中田 広報担当: 落合
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会について

武田雄介(1985年、広島生まれ)は金沢美術工芸大学で油絵を専攻し、2014年に同大学院博士後期課程を修了、現在も金沢を拠点に制作を続け、絵画、写真、映像、音といった様々な素材を組み合わせたインスタレーションを発表してきた。武田は昨年10月より当館のプロジェクト工房をスタジオとして日々制作を進めており、本展ではこうした当館での滞在制作活動から生み出される最新の作品群を紹介する。絵画、映像、ドローイング、塑像など多様なメディアはそれぞれ独立した作品として展示空間に配置されるが、一方でそれらは「イメージの興行き／イメージの湿度」を通奏低音としつつ、層状に重なり合い、切断され、ずれ、変容し続け、不定のもの、あるいは未分明のものとして私たちの眼前にとどまる。こうした作品とその相関は「可視と不可視」「現実と虚構」といったイメージが包含する座標軸を浮動させ、私たちの知覚に揺さぶりをかけるだろう。

見どころ

- ・「アペルト」では初となる金沢在住のアーティストによる個展
- ・当館のプロジェクト工房に拠点を置いて、さまざまな手法・メディアを自在に横断しながら制作された新作の作品群を初公開。



《fr.11 / ピラニア》2017
撮影:木奥恵三

《fr.04 / Still Water》2017
撮影:木奥恵三

《fr.02 / 目》2016
撮影:木奥恵三

「アペルト」シリーズとは

「アペルト」は、若手作家を中心に個展形式で紹介する展覧会のシリーズです。

金沢21世紀美術館は世界の「現在」とともに生きる美術館として、今まさに起こりつつある新しい動向に目を向けています。作家とキュレーターが作品発表の機会を共に創出し、未来の創造への橋渡しをします。国籍や表現方法を問わず、これまで美術館での個展や主要なグループ展への参加経験は少ないが、個展開催に十分な制作意欲を持ち、アペルト実施以後のさらなる飛躍が期待できる作家を紹介していくものです。

※「アペルト(aperto)」は、イタリア語で『開くこと』の意味。

関連プログラム

オープニングイベント

本展の開幕を記念し、武田雄介によるトークをはじめ、作品に関連した映像や音楽による複合的なイベント。

[日時] 2017年1月21日(土)18:30~20:30

[場所] 金沢21世紀美術館 プロジェクト工房

[料金] 500円(1ドリンク付)

作家プロフィール

武田 雄介 (たけだ ゆうすけ)

4

1985年広島市生まれ。金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士後期課程修了(博士)。主な展覧会に「SUNSET is SUNRISE」(MORI YU GALLERY TOKYO/2011年)、「Wandering—暗い部屋—」(TRANS ART TOKYO 旧東京電機大学校舎/2012年)、東京「北加賀屋クロッシング 2013: MOBILIS IN MOBILI-交錯する現在-」(コーポ北加賀屋、CASHI/2013年、問屋まちスタジオ/2014年)、「ファンデナゴヤ2014 虹の麓—反射するプロセス—」(ギャラリー矢田/2014年)、「単純な顔／複雑な島」(MORI YU GALLERY KYOTO/2014年)、「VOCA展2015 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館/2015年)など。



広報用画像

画像1～6を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

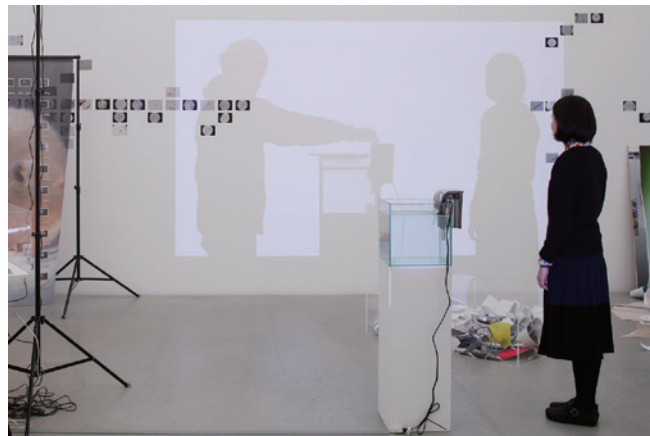
以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

5



「アベルト06 武田雄介」展示風景
撮影:木奥恵三

6



《fr.07 / 銅育禮》2017
撮影:木奥恵三